



地域防災・減災センター

Center for local disaster prevention and mitigation

2020 年度 年次報告書



山口大学

地域防災・減災センター

2021 年 4 月

はじめに

山口大学地域防災・減災センターは、2020年7月、本学が進める研究拠点群形成プロジェクトの採択課題に基づいて設立されたものです。

豪雨災害は毎年のように各地で発生しています。また、南海トラフ地震の発生が切迫していると言われてしています。そこで、当センターは地域の防災・危機管理を支えるセンターの役目をもって発足しました。

本学の工学部、医学部が所在する宇部市においては、沿岸部で高潮・津波、河川沿いでは洪水氾濫・浸水、山間部では土砂災害のリスクがあります。それに加えて社会を守り支えるインフラの脆弱化と少子高齢化が進行しています。これに近い状況は地方都市の多くにあり、そのような状況下で豪雨の激甚化や新型コロナウイルスの脅威に直面しています。

当センターの目的としては、このような厳しい現実を受け止め、宇部市のような地方都市における防災・減災、医療介護、公衆衛生などの問題を解決し、将来を見据えた持続可能な都市社会モデル「新・宇部方式」を提案することとしております。

当センターには分野・領域を超えて現在27名ほどの研究者が参画し、自然災害、リスクマネジメント、保健衛生、環境・防災教育、国際防災及び海洋・気象の6つの部門を設置して活動しており、自然災害と疫病に対して社会を強くする国内初の研究センターを目指しているのが特徴です。

本報告書は、当センターが発足した2020年7月から2021年3月までのセンター及びその構成メンバーの活動成果をまとめたものです。ご覧いただき、ご興味ございましたらセンター事務局までご連絡ください。

2021年度においても内外の研究者を招いた講演会やシンポジウム、テーマを定めたセミナーなどの行事を多数企画しています。ご関心のある方はご参加いただきますと幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2021年4月吉日

地域防災・減災センター長
鈴木 素之



地域防災・減災センター 2020年度 年次報告

目次

はじめに

1. センターの構成	3
1-1. センターメンバー.....	3
1-2. 部門メンバー.....	6
2. 全体活動報告	7
2-1. 概要.....	7
2-2. 活動報告.....	8
2-2-1. 講演会.....	8
2-2-2. シンポジウム.....	9
2-2-3. 国際セミナー・シンポジウム.....	10
2-2-4. 調査.....	12
2-2-5. 広報.....	12
2-3. 会計報告.....	13
3. 部門活動報告	14
3-1. 研究成果概要.....	14
3-2. 自然災害研究協議会中国地区部会.....	15
4. 個人活動報告	16
A. 学術雑誌等.....	16
B. 国際会議における発表.....	21
C. 国内学会・シンポジウム等における発表.....	23
D. 学会運営.....	27
E. 報道関係.....	32
F. 国際交流：外国人の受け入れ状況.....	32
G. 表彰・評価関係.....	33
H. 獲得研究費.....	33

あとがき

1. センターの構成

1-1. センターメンバー

2021年3月31日現在、下表に示すように幅広い分野から27名がメンバーとなっている。

地域防災・減災センターメンバー（2021年3月31日現在）

氏名	所属部局・職名	現在の専門学位	担当部門
【センター長】			
鈴木 素之	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	時間防災学 博士（工学）	【自然災害部門】部門長 & 【国際防災部門】 水・土砂災害、斜面災害、 時間防災学
【副センター長】			
榑原 弘之	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	地域計画学 博士（工学）	【リスクマネジメント部門】部門長 減災まちづくり、緊急災害調査
守田 孝恵	山口大学大学院医学系研究科 地域看護学分野・教授	地域看護学 博士（都市科学）	【保健衛生部門】部門長 & 【環境・防災教育部門】 災害時保健衛生
【構成員】			
赤松 良久	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	環境水理学 博士（工学）	【自然災害部門】 & 【海洋・気象部門】 & 【リスクマネジメント部門】 水・土砂災害、ウイルス
朝位 孝二	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	水理学 博士（工学）	【自然災害部門】 & 【環境・防災教育部門】 水・土砂災害、緊急災害調査
足立 亮介	山口大学大学院創成科学研究科 電気電子情報系専攻・助教	制御理論 博士（情報科学）	【リスクマネジメント部門】 & 【自然災害部門】 ウイルス
網木 政江	山口大学大学院医学系研究科 基礎看護学分野・講師	災害看護学 修士（保健学）	【保健衛生部門】 災害時保健衛生

氏名	所属部局・職名	現在の専門学位	担当部門
鳩 心治	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	建築学 博士（工学）	【リスクマネジメント部門】 減災まちづくり
磯村 聰子	山口大学大学院医学系研究科 地域看護学分野・講師	地域看護学 博士（保健学）	【保健衛生部門】 災害時保健衛生
大澤 高浩	山口大学大学研究推進機構 先端科学イノベーション研究センター・教授	リモートセンシング工学 博士（工学）	【海洋・気象部門】 部門長 & 【国際防災部門】 & 【自然災害部門】 & 【環境・防災教育部門】 海洋気象
太田 岳洋	山口大学大学院創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻・教授	応用地質学 博士（理学）	【自然災害部門】 & 【環境・防災教育部門】 災害地質学、緊急災害調査
楮原 京子	山口大学教育学部・准教授	自然地理学 博士（理学）	【自然災害部門】 & 【リスクマネジメント部門】 時間防災学
斎藤 美矢子	山口大学大学院医学系研究科 地域看護学分野・講師	地域看護学 修士（保健学）	【保健衛生部門】 災害時保健衛生
白水 元	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・助教	海岸工学 博士（工学）	【自然災害部門】 & 【環境・防災教育部門】 & 【国際防災部門】 水・土砂災害、緊急災害調査
鈴木 賢士	山口大学大学院創成科学研究科 農学系専攻・教授	気象学 博士（理学）	【海洋・気象部門】 気象学、雲物理学
鈴木 祐麻	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・准教授	環境工学 Ph.D.(Eng.)	【環境・防災教育部門】 衛生環境
高橋 征仁	山口大学人文学部・教授	社会心理学 文学修士	【環境・防災教育部門】 部門長 防災心理学

氏名	所属部局・職名	現在の専門学位	担当部門
辻 智大	山口大学大学院創成科学研究科 地球圏生命物質科学系専攻・助教	地質学 博士（理学）	【自然災害部門】 災害地質学
鶴田 良介	山口大学大学院医学系研究科 先進救急医療センター・教授（センター長）	救急医療 博士（医学）	【保健衛生部門】&【リスクマネジメント部門】 災害医療、災害時保健衛生
中正 和久	山口大学大学院創成科学研究科 電気電子情報系専攻・准教授	情報工学 博士（工学）	【保健衛生部門】&【自然災害部門】 ヘルスケアシステム
樋口 隆哉	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・教授	環境衛生工学 博士（工学）	【保健衛生部門】 環境質評価、衛生環境
村上 祐里香	山口大学大学院医学系研究科 地域看護学分野・助手	地域看護学 学士（看護学）	【保健衛生部門】 災害時保健衛生
森 啓年	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・准教授	地盤工学 博士（工学）	【自然災害部門】 水・土砂災害、緊急災害調査
森下 徹	山口大学教育学部・教授	歴史学 博士（文学）	【自然災害部門】 防災授業
山本 浩一	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・准教授	環境工学 博士（工学）	【国際防災部門】部門長 &【自然災害部門】&【海洋・気象部門】&【環境・防災教育部門】 水・土砂災害
吉本 憲正	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・准教授	地盤工学 博士（工学）	【自然災害部門】&【環境・防災教育部門】 水・土砂災害
渡邊 学歩	山口大学大学院創成科学研究科 建設環境系専攻・准教授	地震防災・耐震工学 博士（工学）	【自然災害部門】 地震防災・橋梁耐震・豪雨災害

【構成員】以下 50 音順

1-2. 部門メンバー

地域防災・減災センター設立当初からの自然災害部門、リスクマネジメント部門、環境・防災教育部門、保健衛生部門の4部門に加え、センターの国際展開を目指して国際防災部門を、また海洋リモートセンシング、豪雨災害の気象学的検討を強化するために海洋・気象部門を増設した。各部門のメンバーを下表に示す。

地域防災・減災センター部門メンバー（2021年3月31日現在）

自然災害部門 15名	リスクマネジメント部門 6名	環境・防災教育部門 9名	保健衛生部門 8名	国際防災部門 4名	海洋・気象部門 4名
【部門長】 鈴木 素之 【構成員】 赤松 良久 朝位 孝二 足立 亮介 大澤 高浩 太田 岳洋 楳原 京子 白水 元 辻 智大 中正 和久 森 啓年 森下 徹 山本 浩一 吉本 憲正 渡邊 学歩	【部門長】 榊原 弘之 【構成員】 赤松 良久 足立 亮介 鷗 心治 楳原 京子 鶴田 良介	【部門長】 高橋 征仁 【構成員】 朝位 孝二 大澤 高浩 太田 岳洋 白水 元 鈴木 祐麻 守田 孝恵 山本 浩一 吉本 憲正	【部門長】 守田 孝恵 【構成員】 網木 政江 磯村 聡子 斎藤 美矢子 鶴田 良介 中正 和久 樋口 隆哉 村上 祐里香	【部門長】 山本 浩一 【構成員】 大澤 高浩 白水 元 鈴木 素之	【部門長】 大澤 高浩 【構成員】 赤松 良久 鈴木 賢士 山本 浩一

【構成員】以下50音順

2. 全体活動報告

2-1. 概要

地域防災・減災センターでは2020年度に5件の行事を主催、1件の行事を共催した。また1件の行事に参加した。下表に行事一覧を示す。主催行事の詳細については2-2に示す。

2020年度地域防災・減災センター主催・共催行事一覧

	日時・場所	行事名	主催・共催・後援	参加人数
1	2020年8月24日 13:50-17:00 Zoom	令和2年九州豪雨災害速報会	主催：グローバル環境・防災学研究会、共催：地域防災・減災センター	約220名
2	2020年11月14日 10:00-15:00 わいわいばあ〜く（中央街区公園）、銀天エコプラザ	「まちなかエコ市場」出展	主催：宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」、共催：宇部市・宇部中央銀天街協同組合	37名以上
3	2020年12月16日 17:00-18:00 Zoom	第1回「時間防災学」セミナー講演会	主催：地域防災・減災センター、共催：グローバル環境・防災学研究会	69名
4	2021年1月27日 15:00-16:30 Zoom	山口大学地域防災・減災センタープレセミナー講演会「真備緊急治水対策プロジェクトについてーH30.7水害からの復旧・復興に向けてー」	主催：地域防災・減災センター、共催：グローバル環境・防災学研究会	260名
5	2021年2月15日 15:00-17:20 Zoom	山口大学地域防災・減災センターキックオフシンポジウム	主催：地域防災・減災センター、共催：グローバル環境・防災学研究会、後援：宇部市	121名
6	2021年2月24日 17:00-18:00 Zoom	第2回「時間防災学」セミナー講演会	主催：地域防災・減災センター、共催：グローバル環境・防災学研究会	84名
7	2021年3月4日 11:00-17:00 2021年3月10日 11:00-12:35 Zoom	The 1st International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment	主催：地域防災・減災センター、共催：工学部社会建設工学科	88名

2-2. 活動報告

2-2-1. 講演会

地域防災・減災センターが主催した3件の講演会について、詳細を以下に示す。

■ 第1回「時間防災学」セミナー講演会

2020年12月16日（火）、第1回「時間防災学セミナー」がウェブ開催され（グローバル環境・防災学研究会共催）、官公庁、民間企業、一般、大学、学生から69名の参加があった。

【講師】広島大学大学院人間社会科学研究所/教育学部准教授 熊原康博先生

【演題】地域資源をどのように防災教育に活かすのか？－広島県内の水害碑悉皆調査と防災教育教材作成－



■ 山口大学地域防災・減災センタープレセミナー講演会

2021年1月27日（水）、プレセミナー講演会がウェブ開催され（グローバル環境・防災学研究会共催）、官公庁、民間企業、一般、大学から260名の参加があった。

【講師】国土交通省中国地方整備局高梁川・小田川緊急治水対策河川事務所長 榎谷有吾氏

【演題】真備緊急治水対策プロジェクトについて－H30.7水害からの復旧・復興に向けて－



■ 第2回「時間防災学」セミナー講演会

2021年2月24日（水）、第2回「時間防災学セミナー」がウェブ開催され（グローバル環境・防災学研究会共催）、官公庁、民間企業、一般、大学、学生などから84名の参加があった。

【講師】徳島大学大学院社会産業理工学研究部准教授 西山賢一先生

【演題】西南日本における斜面崩壊・土石流の発生時期を推定する試み

**過去の災害を伝える碑が、新しい地図記号に追加：
自然災害伝承碑（2019年から）**

広島県坂町町の例
2018年西日本豪雨で土石流による大被害を受けた坂町小屋浦地区。

この地区には、1907年にも土石流で大被害を受けたことが、石碑として伝承されていたが、新しく引っ越してきた住民たちは、その伝承を知らずに、2018年に被災した。

「地理院地図」で検索、トップ—災害伝承・避難場所—自然災害伝承碑の順で表示できる。左の地図記号をクリックすると石碑の写真と災害の概要が表示される。

2-2-2. シンポジウム

地域防災・減災センターが主催したシンポジウムについて、詳細を以下に示す。

■ 山口大学地域防災・減災センターキックオフシンポジウム

2021年2月15日（月）、キックオフシンポジウムがウェブ開催され（グローバル環境・防災学研究会共催、宇部市後援）、官公庁、民間企業、一般、大学から121名の参加があった。

基調講演

【講師】 国立保健医療科学院健康危機管理研究分野上席主任研究官 奥田博子先生

【演題】 災害時の住民の健康と暮らしを守るために—山口大学地域防災・減災センターに期待すること

パネルディスカッション「安全・安心なまちづくりに必要なこと ～防災減災の地域連携～」

【コーディネーター】 榊原弘之 山口大学大学院創成科学研究科教授

【パネリスト】 奥田博子氏 国立保健医療科学院健康危機管理研究分野 上席主任研究官
鈴木素之氏 山口大学大学院創成科学研究科教授（地域防災・減災センター長）
佐々木哲氏 宇部市役所防災危機管理監
佐々木里佳氏 宇部市役所健康福祉部長



2-2-3. 国際セミナー・シンポジウム

地域防災・減災センターが主催した2件の国際セミナー・シンポジウムについて、詳細を以下に示す。

■ The 1st International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment

2021年3月4日(木)と10日(水)の二日間にわたり、The 1st International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment(第1回山口大学国際同窓防災・環境オンラインセミナー)が開催された(山口大学工学部社会建設工学科共催)。本セミナーは、海外から山口大学に留学し、修了後各国で活躍されている卒業生と在校生の交流の場を提供し、また各国それぞれが抱える地方レベルの災害や環境の問題を共有し、解決のための国際的な研究協力関係を強化することを目的として開催された。

講演者を含む参加者の出身国(人数)はインドネシア(27)、ベトナム(7)、バングラデシュ(3)、マレーシア(3)、ボスニア・ヘルツェゴビナ(2)、カナダ(1)、中国(1)、ブルガリア(1)、モンゴル(1)、日本(42)の10か国で、参加人数の合計は88名(内卒業生25名)であった。今後の研究協力のきっかけになるような参加者同士の交流が見られた有意義な会となった。(本セミナーは「山口大学令和2年度オンラインを活用した国際交流プロジェクト」の助成を受けて実施。)

1 日目概要

セミナー1日目は招待講演、ポスターセッション、パネルディスカッションの3部構成となっており、招待講演前半では山口大学の清水則一教授(工学部社会建設工学科)と今井剛教授(工学部循環環境工学科)からご専門分野の研究のご紹介ならびに国際研究協力の進め方についてご講演があった。

招待講演後半では山口大学で2020年に学位を取得されたDr. Benjamim Hopffer Martins(Universidade Nacional Timor Lorosa'e、東チモール)から道路等の社会基盤整備に影響を及ぼす地盤変形のモニタリングに関する研究のご紹介を、また2014年に学位を取得されたDr. Huy Thanh Vo(Mien Trung University of Civil Engineering、ベトナム)からリモートセンシング等の技術を利用した洪水ハザードマップの作成に関する研究のご紹介をいただいた。

ポスターセッションでは、地盤変形、水環境と政策、自然災害と地盤工学の3つのテーマに分かれてポスター発表と活発な議論が行われた。

パネルディスカッション1「Local disaster problems to be solved: damage caused by debris flow in Vietnam and future issues」では、土石流に詳しい専門家をパネリストとコメンテーターにお迎えし、山口大学地域防災・減災センター長の鈴木素之教授の司会のもとベトナムの土石流災害を中心に議論が行われた。

【パネリスト】

Dr. Benjamim Hopffer Martins (Universidade Nacional Timor Lorosa'e、東チモール)

Dr. Huy Thanh Vo (Mien Trung University of Civil Engineering、ベトナム)

Dr. Vu Ba Thao (Vietnam Hydraulic Construction Institute、ベトナム)

Dr. I Nyoman Sudi Parwata (Udayana University インドネシア)

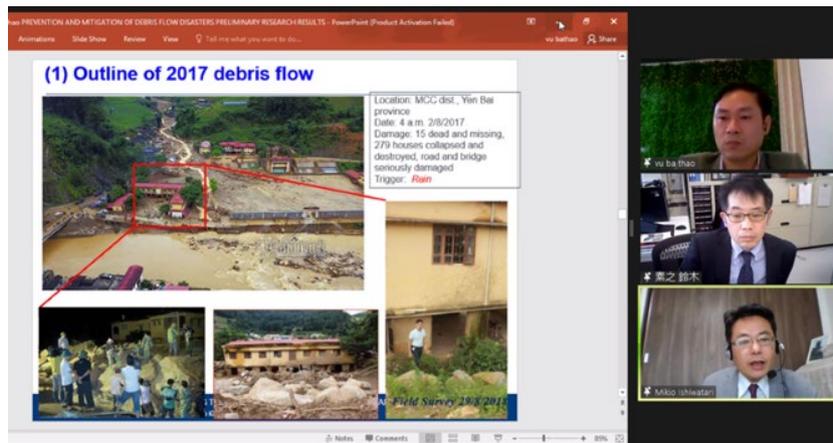
Dr. Nguyen Thanh Duong (Ha Noi University of Mining and Geology、ベトナム)

【コメンテーター】

石渡幹夫氏(国際協力機構)

河内義文氏（株式会社ケイズラブ）

松木宏彰氏（復建調査設計株式会社）



2 日目概要

セミナー2 日目はパネルディスカッション 2「コロナ禍における留学～オンラインで可能なこと、不可能なこと～」が行われた。山口大学の朝位孝二教授（工学部社会建設工学科）の司会のもと山口大学の教職員、在学中の留学生をパネリストに迎え、山口大学の留学の現状、コロナ禍でのオンライン海外研修・授業の取り組み、留学生受け入れに関する諸課題、留学生の実体験や卒業生からの意見等が紹介された後、聴講者からの質問を踏まえてディスカッションが行われた。

【パネリスト（いずれも山口大学）】

富本幾文氏（国際戦略室副室長）

山田知沙氏（工学部技術部）

大澤高浩氏（大学研究推進機構）

Azizul Moqsud 氏（工学部社会建設工学科）

森啓年氏（工学部社会建設工学科）

山本浩一氏（工学部社会建設工学科）

Enamul Kabir 氏（大学院創成科学研究科博士後期課程）

Chagnaadorj Yanjinkham 氏（工学部社会建設工学科 3 年）

■ YU-UCL シンポジウム “Cutting-Edge Technologies for a Disaster-Free Future”

2021 年 3 月 12 日（金）、YU-UCL シンポジウム“Cutting-Edge Technologies for a Disaster-Free Future”が開催され（University College London (UCL)、応用衛星リモートセンシング研究センター共催）、UCL 側、山口大学側から各 4 件、計 8 件の講演がなされた。山口大学創成科学研究科の清水則一教授が“International collaborative researches with Asia and Balkan countries: Application of the satellite technology for monitoring ground deformation in disaster and environmental issues”と題する講演を、山口大学大学研究推進機構先端科学イノベーション研究センターの大澤高浩教授（地域防災・減災センター海洋・気象部門長）が“Overall of Yamaguchi University Activity for Remote Sensing and Application of Remote Sensing for Health and Disaster in Indonesia”と題する講演を、また山口大学創成科学研究科の榊原弘之教授（地域防災・減災センター副センター長）が“Flood Risk Management

in Super -aging society –Evacuation Problem at Medical/Welfare Facilities”と題する講演を行った。この交流は、次年度も継続される見込みである。

2-2-4. 調査

■ 令和2年7月豪雨被災介護施設調査（2020年10月9日 榑原）

令和2年7月豪雨で被災した、熊本県球磨村の特別養護老人ホーム（以下施設①）、及び熊本県八代市のグループホーム（以下施設②）の2施設でヒアリング調査を実施した。以下にヒアリング調査の概要を示す。

	施設①	施設②
実施地域	熊本県球磨村	熊本県八代市
河川	球磨川（一級河川）	球磨川（一級河川）
実施施設種別	特別養護老人ホーム	グループホーム
ヒアリング対象	副施設長、他1名	社会福祉法人理事統括所長、 管理者

■ 令和2年7月豪雨における被災介護施設からの2次避難実態調査（2020年12月2日 榑原）

令和2年7月豪雨では、被災した熊本県芦北町の特別養護老人ホームから、熊本市内の各施設への2次避難が実施されている。この2次避難の受け入れ調整に当たった熊本市老人福祉施設協議会に対するヒアリング調査を実施した。

2-2-5. 広報

2020年11月14日、中央街区公園、銀天エコプラザで開催された第31回まちなかエコ市場「ストップ ザ コロナ！エコ市場」（主催：宇部市まちなか環境学習館「銀天エコプラザ」、共催：宇部市・宇部中央銀天街協同組合）にて展示を行った。子供から大人まで37名以上が展示ブースに来場し、センターの活動について広く紹介するとともに参加者に防災意識を高めてもらった。



2021年1月4日、宇部市役所を訪問し、宇部市長ならびに関係部署幹部に当センターの概要等について説明した。

センターのロゴを作成し、ホームページ (<https://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~cldpm/index.html>)

を開設した。また工学部機械・社建棟 8 階 808 にセンター事務局を開所し、センターの銘板を製作・設置した。

2-3. 会計報告

センターの 2020 年度の収入および支出を以下に示す。

費目	内訳	金額	備考
収入			
助成金		4,500,000	
収入総額：		4,500,000	
支出			
設備備品費	エアーサンプラー (1 式)	1,999,800	
	ドローン (1 台)	664,389	
	センター銘板 (1 枚)	126,500	
	パソコン、ディスプレイ (3 組)	453,080	
消耗品費	ソフトウェア、文具、事務用品	208,426	
人件費	事務補佐員雇用費 (3 名)	659,089	1/1-3/31、1/12-3/11、3/1-3/31
謝金	講師招聘謝金 (4 名)	62,916	2020/12/16、2021/2/15、 2021/2/24、2021/3/4
	学生謝金 (5 名)	51,800	12/16 講演会補助、ポスター 作成補助
外注費	地域防災・減災センターHP 制作 (1 式)	180,800	
諸経費	CPD プログラム認定料 6,000 円 ×4 件	24,000	2020/12/16、2021/1/27、 2021/2/15、2021/2/24
	建設系プログラムサイト掲載料 3,000 円×4 件	12,000	
	論文集掲載料	57,200	
支出総額：		4,500,000	
収入－支出 (差引残高)：		0	

3. 部門活動報告

3-1. 研究成果概要

1) 医療・介護施設の水害タイムライン策定支援（リスクマネジメント部門&保健衛生部門）

申請メンバーの榊原、守田らはこれまでに、宇部市の厚東川流域の医療・介護施設に水害を想定した避難訓練を実施し、避難プロセスについて分析を行ってきた。一方、2020年7月の九州地方の豪雨災害においては、避難確保計画が策定されていた介護施設で多くの犠牲者が発生してしまった。そこで、同災害で浸水被害のあった施設に対するヒアリング調査を実施したほか、2次避難の調整に当たった施設対象のヒアリング調査も実施した。その上で、既往の研究成果や、今年度災害のヒアリング調査で得られた知見をもとに、医療・介護施設のための実効性ある水害避難計画策定支援を実施した。具体的には2018年の西日本豪雨災害や、2019年の台風19号災害の教訓を踏まえ、①患者や施設利用者が安全に避難するための時間を確保し、②避難後も医療・介護活動が安定的に継続できるような水害避難計画の策定を支援した。その際、リスクマネジメント部門の研究者の有する水害防災に関する知見や、保健衛生部門の研究者が有する保健・看護に関する知見を活用した。

また、基礎自治体における防災耐力強化のための災害時避難所機能を検討するため、2021年1月～3月にかけて宇部市内の宿泊施設調査や宇部市職員との研究成果報告会を実施した。

2) 被災ポテンシャルの歴史の変遷の把握（自然災害部門）

近年豪雨災害に見舞われた山口県周南市、広島県坂町、呉市、秋田市などの各調査箇所では現地調査を実施した。河川氾濫源と土石流扇状地が交差する平地部ではジオスライサーによって地層を剥ぎ取り、洪水・土石流・土砂洪水氾濫の各堆積物の土層区分を行った上で、各堆積物の層相、厚さ、土粒子の密度、粒度等の測定・分析、光学顕微鏡による観察を行った。また、谷出口付近では、削剥された溪岸露頭に見られた新旧土石流堆積物の組成と構造を調べた。堆積物中に見られた樹木片等の炭化物に対して放射性炭素年代測定（14C）を実施した。取得した年代値は、これまでにデータを蓄積してきた年表に追加するとともに、歴史資料から抽出した既往災害イベントと照合し、その確度を検討した。周南市の調査箇所では、その周辺部の衛星データ、航空LPデータをもとに地形解析および土石流氾濫解析に用いる細密DTMを作成し、それを用いてGIS地形解析を行い、基本的な地形量として標高、傾斜、傾斜方位、収束指数を算出し、それぞれの地形量の変化（ばらつきの程度）等を概略評価した。この他に、土石流シミュレーションにより山口県内の土石流が河川・線路に到達する複合災害発生ポテンシャルの検討を実施した。また、2018年に発生した広島県呉市の土砂災害を対象にALOS-2を用いて山間部の地表の経年変化の検出を試みた。本年度の成果としては、山口および秋田の調査箇所では過去の洪水で形成された層状の痕跡を地中に認め、その痕跡の一部が災害イベントと時期的に整合すること、広島沿岸地域の土石流の長期的発生間隔は同一溪流では150～400年程度であり、坂町総頭川においても発生時期は異なるものの、同様の間隔であること、山口および広島の一部の遺跡分布と近年の災害発生箇所の位置関係を検討した結果、少なくとも中世以降の集落は土砂災害・洪水のリスクを負う傾向があることなどが明らかになった。

3) 防災に携わる海外研究者とのネットワークの確立 (国際防災部門)

山口大学を卒業した留学生を中心に、防災に携わる海外研究者とのネットワークを確立する第一歩として、2021年3月に「The 1st International Alumni Online Seminar on Disaster Prevention and Environment」と題する国際セミナーを開催した(詳細は2-2-3参照)。この会議をきっかけとして、参加者の多くとSNSを通じて相互に連絡取り合える体制ができつつある。今回は特にベトナムの土石流災害に着目して議論を深めたが、今後定期的にセミナー開催し各国で問題となっているテーマを取り上げ、さらなる協力関係を築いていく。また、JSPS 二国間交流事業共同研究において、部門長の山本浩一がインドネシアのリアウ大学と共同で「泥炭地堆積物の輸送力学の確立」に関する研究を行っており、インドネシア泥炭地の海岸浸食のメカニズムの解明に取り組んでいる。

3-2. 自然災害研究協議会中国地区部会

地域防災・減災センターが共催となって2021年3月14日に第7回自然災害研究協議会中国地区部会研究発表会がオンラインで開催された。また同時にYouTubeでストリーミング配信も行った。内容は多岐にわたり、R2年の球磨川水害、季節風による強風災害、地滑り・土砂災害、タイムライン作成、UAVやニューラルネットワークを用いた技術など全部で17件の研究発表が行われた。いずれの発表においても活発な質疑が交わされた。なお、研究論文集は下記URLから閲覧できる。

https://yamaharu-nds.jp/ndic_chugoku/

4. 個人活動報告

A. 学術雑誌等

著者名、発表論文名、学会誌名、発表年月巻号等	査読
鈴木 素之	
金子雅博, 神山惇, 下野宗彦, 秦二郎, <u>鈴木素之</u> . 再滑動地すべりの安定性評価におけるリングせん断試験と逆算法による強度定数の比較－供用開始後 42 年が経過した切土のり面の地すべり事例－. 地盤工学ジャーナル. 2021, 16(1), p. 49-61.	有
Moriguchi, S., Matsugi, H., Ochiai, T., Yoshikawa, S., Inagaki, H., Ueno, S., <u>Suzuki, M.</u> , Tobita, Y., Chida, T., Takahashi, K., Shibayama, A., Hashimoto, M., Kyoya, T., Dolojan, N. L. J. Survey report on damage caused by 2019 Typhoon Hagibis in Marumori Town, Miyagi Prefecture, Japan. Soils and Foundations. 2021, 61, 586-599.	有
Martins, B. H., <u>Suzuki, M.</u> , Yastika, P. E., Shimizu, N., Ground surface deformation detection in complex landslide area - Bobonaro, Timor-Leste - using SBAS DInSAR, UAV and Field Observations. Geosciences. 2020, 10(6), 245.	有
藤本哲生, 寺嶋 瞬, 大迫将輝, 大迫将輝, <u>鈴木素之</u> . 上載圧下で養生したセメント安定処理土の強度発現に及ぼす排水距離の影響. 地盤と建設. 2020, 38(1), 99-104.	有
松木宏彰, 楮原京子, 川島尚宗, <u>鈴木素之</u> . 2018 年西日本豪雨における広島県坂町総頭川周辺での土石流発生状況と堆積物特性. 地盤と建設. 2020, 38(1), 105-113.	有
松本品, 河内義文, <u>鈴木素之</u> , 兵動正幸. 浸透流解析と実物大崩壊実験による豪雨時浸透および源頭部崩壊メカニズム. 地盤工学ジャーナル. 2020, 15(2), 355-369.	有
志村直紀, <u>鈴木素之</u> , 内川浩樹. 帯鋼補強土壁における先行引抜きが荷重保持後に発生する引抜け変位へ及ぼす影響. 土木学会論文集 C (地圏工学) . 2020, 76(2), 110-121.	有
佐原邦朋, <u>鈴木素之</u> , 藤田義成. 現場使用を想定した鋼製帯状補強土壁用小型引抜き試験機による摩擦特性評価. 土木学会論文集 C (地圏工学) . 2020, 76(1), 12-25.	有
神山惇, 福林良典, 末次大輔, <u>鈴木素之</u> . 土試料の最大粒径に着目した小型締固め試験装置による締固め試験方法の検討. 地盤工学ジャーナル. 2020, 15(1), 91-102.	有
松木宏彰, <u>鈴木素之</u> , 楮原京子, 川島尚宗. 2018 年山口県豪雨災害と島田川流域の土砂災害. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集. 2020, 6, 45-49.	
榊原 弘之	
赤星拓哉, 神谷大介, 吉濱佑太, 城間聖, 長曾我部まどか, <u>榊原弘之</u> , 金城太一, 我部新, 山中亮, et al. 過疎・高齢地域における自主防災組織結成を目的とした防災ワークショップの発話分析. 土木計画学研究・講演集. 2020, 61.	
<u>榊原弘之</u> , 中野友貴, 神谷大介, 赤松良久, 守田孝恵, 磯村總子, 斎藤美矢子, 木嶋彩乃. 小規模高齢者福祉施設における 水害時垂直避難計画の策定支援に関する研究. 土木計画学研究・講演集. 2020, 61.	

Chasanah, F., <u>Sakakibara, H.</u> Assessment of Social Vulnerability in the Evacuation Process from Mount Merapi: Focusing on People's Behavior and Mutual Assistance. Journal of Integrated Disaster Risk Management. 2021, 10(2), 15-34.	有
守田 孝恵	
磯村聡子, <u>守田孝恵</u> . 近隣との問題を抱える精神障害者を対象とした民生委員の支援経験と困難感. リハビリテーション連携科学. 2020, 21(2), 137-149.	有
木嶋彩乃, <u>守田孝恵</u> . 新人保健師の経験の質と振り返りに向けたプリセプターの関わり. 山口医学. 2020, 69(3), 125-133.	有
赤松 良久	
大中臨, <u>赤松良久</u> , 平田真二, 佐山敬洋. 令和元年台風第 19 号による那珂川流域の流出氾濫再現シミュレーション. 土木学会論文集 B1 (水工学). 2020. Vol.76(1), 304-314.	有
横木裕宗, 内田龍彦, <u>赤松良久</u> , 瀬戸心太, 音田慎一郎, 山田朋人, 西村聡, 手計太一, 藤山知加子, 榊原弘之, 嶋原良典, 横嶋哲. 令和元年風水害報告特別企画. 土木学会論文集 B1 (水工学). 2020. Vol.76(1), 153-158.	有
河野誉仁, <u>赤松良久</u> , 乾隆帝. 河川生態系モデルを用いた河床掘削が河川生物に及ぼす影響予測. 土木学会論文集 B1(水工学). 2020. Vol.76(1), 81-97.	有
<u>赤松良久</u> , 今村史子, 中尾遼平, 後藤益滋. 地下水動態を可視化する DNA トレーサーに関する基礎的実験. 土木学会論文集 B1(水工学). 2020. Vol.76(2), I_1027-I_1032.	有
大中臨, 安木進也, <u>赤松良久</u> . 宍道湖浅水域における UAV・SfM-MVS を用いた水面下地形測定の有効性に関する検討. 土木学会論文集 B1(水工学). 2020. Vol.76(2), I_1033-I_1038.	有
朝位 孝二	
<u>朝位孝二</u> , 西山浩司, 白水元, 丹羽晶大. SOM を用いた北部九州・中国地方で高潮災害を引き起こした気象場パターンの分類. 土木学会論文集 B2(海岸工学). 2020, 76(2), I_1219-I_1224.	有
村岡和満, <u>朝位孝二</u> . ベンガル地域の気象水文量の長期変化と地球規模現象との相関・因果関係の解明. 土木学会論文集 B1(水工学). 2020, 76(1), 53-69.	有
田邊虎太郎, 稲葉 証, 白水元, <u>朝位孝二</u> . 令和 2 年 7 月豪雨の球磨川流域の流量推定と人吉地区の氾濫シミュレーション. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集. 2021, 7, 5-8.	
山本悠人, <u>朝位孝二</u> , 白水元. SAR 画像を用いた令和 2 年 7 月豪雨球磨川流域の浸水深推定. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集. 2021, 7, 9-12.	
奥村翼, <u>朝位孝二</u> , 白水元, 西山浩司. SOM による南九州に豪雨災害をもたらした気象場の分類. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集, 2021, 7, 13-16.	
足立 亮介	
<u>Ryosuke Adachi</u> , YuhYamashita, KoichiKobayashi. Distributed estimation based on weighted data aggregation over delayed sensor networks. IFAC Journal of Systems and Control. 2020, 14, 100-109.	有

鷗 心治	
鷗心治. 景観形成の視点からパブリックアートを考える. 都市計画. 2020, 69(2), 343, 44-47.	有
磯村 聡子	
磯村聡子, 守田孝恵. 近隣との問題を抱える精神障害者を対象とした民生委員の支援経験と困難感. リハビリテーション連携科学. 2020, 21(2), 137-148.	有
大澤 高浩	
I. Nyoman Sudi Parwata, Shinichiro Nakashima, Norikazu Shimizu, <u>Takahiro Osawa</u> . Effect of digital elevation models on monitoring slope displacements in open-pit mine by differential interferometry synthetic aperture radar. Journal of Rock Mechanics and Geotechnical Engineering. 2020, 12(5), 1001-1013.	有
I. Wayan Gede Astawa Karang, Chonnaniyah, <u>Takahiro Osawa</u> . Internal solitary wave observations in the Flores Sea using the Himawari-8 geostationary satellite. International Journal of Remote Sensing. 2020, 41(15), 5726-5742.	有
楢原 京子	
楢原京子. 平成 30 年 7 月豪雨における山口県の斜面崩壊とその背景. 地理科学. 2020, 75(3), 136-145.	有
鈴木素之, 楢原京子, 松木宏彰, 阪口和之, 片岡知. 花崗岩・まさ土地帯における豪雨による土石流の起こり方とその対策. 基礎工. 2020, 48(6), 19-22.	有
佐々木達, 荒木一視, 楢原京子, 熊谷美香, 田中耕市, 中村努, 松多信尚. 南海トラフ地震を想定した救援物資輸送ルートの検討. E-journal GEO. 2020, 15(1), 101-114.	有
白水 元	
朝位孝二, 西山浩司, <u>白水元</u> , 丹羽晶大. SOM を用いた北部九州・中国地方で高潮災害を引き起こした気象場パターンの分類. 2020. 土木学会論文集 B2(海岸工学). 76(2), I_1219-I_1224.	有
田邊虎太郎, 稲葉 証, <u>白水元</u> , 朝位孝二. 令和 2 年 7 月豪雨の球磨川流域の流量推定と人吉地区の氾濫シミュレーション. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集. 2021, 7, 5-8.	
山本悠人, 朝位孝二, <u>白水元</u> . SAR 画像を用いた令和 2 年 7 月豪雨球磨川流域の浸水深推定. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集. 2021, 7, 9-12.	
奥村翼, 朝位孝二, <u>白水元</u> , 西山浩司. SOM による南九州に豪雨災害をもたらした気象場の分類. 自然災害研究協議会中国地区部会研究論文集, 2021, 7, 13-16.	
鈴木 賢士	
大石哲, 南郷脩介, 梶川義幸, 山浦剛, 鈴木賢士, 山口弘誠, 中北英一. ビデオゾンデと数値シミュレーションによる雲内の雨滴粒径分布計測手法に関する研究. 水工学論文集 B1(水工学). 2020, 76(2), 199-204.	有
高見和哉, 鈴木賢士, 山口弘誠, 中北英一. 冬期の降水形態の判別を目的とした偏波レーダーを用いた 0°C 高度推定手法. 水工学論文集 B1(水工学). 2020, 76(2), 205-210.	有

Rimpei Kamamoto, <u>Kenji Suzuki</u> , Tetsuya Kawano, Hiroshi Hanado, Katsuhiro Nakagawa, Yuki Kaneko. Ground Validation of GPM DPR Algorithms by Hydrometeor Measurements and Polarimetric Radar Observations of Winter Snow Clouds: A Case Study on 4 February 2018. SOLA. 2020, 16, 115-119.	有
鈴木 祐麻	
<u>Suzuki, T.</u> , Abe, M., Yamasaki, H., Niinae, M. Immobilization of fluoride in kaolinite and montmorillonite by the addition of magnesium oxide. Salt and Seawater Science & Technology. 2021, 1, 78-79.	有
<u>Suzuki, T.</u> , Kakihana, Y., Higa, M. Recovery of salinity gradient energy by reverse electrodialysis (RED): Principle, recent developments, and challenges for commercialization. Salt and Seawater Science & Technology. 2021, 1, 46-60.	有
<u>Suzuki, T.</u> , Morotomi, H., Abe, M., Niinae, M. Highly efficient and irreversible adsorption of Sr(II) from brackish water using layered titanate. Salt and Seawater Science & Technology. 2021, 1, 76-77.	有
<u>Suzuki, T.</u> , Tamenishi, T., Niinae, M. Influence of ions contained in seawater on the desorption of manganese(II) from contaminated montmorillonite. Salt and Seawater Science & Technology. 2021, 1, 74-75.	有
<u>Suzuki, T.</u> , Nakase, K., Tamenishi, T., Niinae, M. Influence of pH and cations contained in rainwater on leaching of Cd(II) from artificially contaminated montmorillonite. Journal of Environmental Chemical Engineering. 2020, 8, 104080.	有
高橋 征仁	
Robin Goodwin, Kemmyo Sugiyama, Shaojing Sun, <u>Masahito Takahashi</u> , Jun Aida. Trajectories of Distress Following the Great East Japan Earthquake: A Multiwave Prospective Study. Clinical Psychological Science. 2020, 8(6), 1062-1068.	有
辻 智大	
<u>Tomohiro Tsuji</u> , Naoki Nishizaka, Kozo Ohnishi. Influence of particle aggregation on the tephra dispersal and sedimentation from the October 8, 2016, eruption of Aso volcano. Earth, Planets and Space. 2020, 72: 104.	有
七山太, 山口龍彦, 中西利典, <u>辻智大</u> , 池田倫治, 近藤康生, 三輪美智子, 杉山真二, 木村一成. 地震性地殻変動と大規模ラハールによって規制された開析谷埋積シークエンス: 南海トラフ沿岸, 宿毛臨海低地において採取された沖積コアの解析例. 地質学雑誌. 2020, 126(9), 493-517.	有
鶴田 良介	
Tsuyoshi Maekawa, Kotaro Kaneda, <u>Ryosuke Tsuruta</u> , Yasuhiro Kuroda, Ken Nagao, Hiroshi Rinka, Takeshi Takahashi, Hiroyuki Yokota, Shin-Ichi Shirai, Mamoru Hase, et al. Precision and Safety of an Intravascular Temperature Management System for Postcardiac Arrest Syndrome Patients: A Multicenter Clinical Trial (COOL-ARREST JP). Therapeutic Hypothermia and Temperature Management. 2020, 10(3), 179-185.	有

中正 和久	
Nobuhiro Shimoi, <u>Kazuhisa Nakasho</u> . Sally, a Robot for Measuring Piezoelectric Joint Sensor Characteristics. Research & Development. 2020, 1(1), 25-30.	有
Nobuhiro Shimoi, Carlos Cuadra, Hirokazu Madokoro, <u>Kazuhisa Nakasho</u> . Comparison of Displacement Measurements and Simulation on Fillet Weld of Steel Column Base. International Journal of Mechanical Engineering and Applications. 2020, 8(5), 111-117.	有
Nobuhiro Shimoi, Carlos Cuadra, Hirokazu Madokoro, <u>Kazuhisa Nakasho</u> . Comparison in Displacement Measurements for Fillet Weld of Steel Column Base by Using Piezoelectric Joint Sensors. International Journal of Science and Engineering Investigations. 2020, 9(102), 99-103.	有
樋口 隆哉	
Anna Bokowa, Carlos Diaz, Jacek A. Koziel, Michael McGinley, Jennifer Barclay, Gunther Schauburger, Jean-Michel Guillot, Robert Sneath, Laura Capelli, Vania Zorich, Cyntia Izquierdo, Ilse Bilsen, Anne-Claude Romain, Maria del Carmen Cabeza, Dezhao Liu, Ralf Both, Hugo Van Belois, <u>Takaya Higuchi</u> , Landon Wahe. Summary and overview of the odour regulations worldwide. Atmosphere. 2021, 12(2), 206.	有
森 啓年	
<u>Hirotohi Mori</u> , Xiaoyu Chen, Yat Fai Leung, Daisuke Shimokawa, Man Kong Lo. Landslide hazard assessment by smoothed particle hydrodynamics with spatially variable soil properties and statistical rainfall distribution. Canadian Geotechnical Journal. 2020, 57(12), 1953-1969.	有
笠間清伸, 山本秀平, 大野誠, 森啓年, 塚元伸一, 田中淳. 2016年熊本地震における鋼矢板工法で補強した河川堤防の被害要因分析. 地盤工学ジャーナル. 2020, 15(2), 395-404.	有
宮翔太, 森啓年, 栗栖直之, 中川翔太, 倉田大輔. 河川堤防のドレーン工法のフィルター部の健全性に関する模型実験および数値解析. 河川技術論文集. 2020. 26. 449-454	有
Enomoto, T., Horikoshi, K., Ishikawa, K., <u>Mori, H.</u> , Takahashi, A., Unno, T., Watanabe, K. Levee damage and bridge scour by 2019 typhoon Hagibis in Kanto Region, Japan. Soils and Foundations. 2021, 61, 566-585.	有
森下 徹	
<u>森下徹</u> . 錦帯橋普請における建設事業としての特質. 錦帯橋調査報告書. 2020, 92-102.	
山本 浩一	
Diem Mai Kim Nguyen, Tsuyoshi Imai, Shahira Said Aly, Takaya Higuchi, Ariyo Kanno, <u>Koichi Yamamoto</u> , Masahiko Sekine. Influence of water-film-forming-unit on the enhanced removal of carbon dioxide from mixed gas using water absorption apparatus. Environmental Technology. 2020, 41(7), 852-862.	有

Masahiko Sekine, Jianing Wang, <u>Koichi Yamamoto</u> , Ariyo Kanno. Fish habitat evaluation based on width-to-depth ratio and eco-environmental diversity index in small rivers. Environmental Science and Pollution Research. 2020, 27(28), 34781 - 34795.	有
A. H.M. Enamul Kabir, Masahiko Sekine, Tsuyoshi Imai, <u>Koichi Yamamoto</u> . Microplastics pollution in the seto inland sea and sea of Japan surrounded Yamaguchi prefecture areas, Japan: Abundance, characterization and distribution, and potential occurrences. Journal of Water and Environment Technology. 2020, 18(3), 175 - 194.	有
吉本 憲正	
中田幸男, <u>吉本憲正</u> , 米田純, 梶山慎太郎, 中島晃司. メタンハイドレート生産に関わる最近の室内試験および模型実験. 地盤工学会誌. 2020, 68(7), 19-22.	有
渡邊 学歩	
Shao PEILUN, <u>渡邊学歩</u> , 幸左賢二. 極薄肉 PCM 巻き立て補橋による柱橋脚模型の曲げ変形性能向上に関する研究. コンクリート構造物の補修、補強、アップグレード論文報告集. 2020, 20, 411-416.	有
竹内諒, <u>渡邊学歩</u> , 馬越一也, 葛西昭. 複合鋼桁橋の地震時衝突現象に関する有限要素法に基づく構造解析. 土木学会論文集 A1(構造・地震工学). 2020, 76(4), I_695-I_708.	有

B. 国際会議における発表

著者名、発表論文名、学会名、開催場所、論文等の番号、発表年月日等	査読
鈴木 素之	
<u>Suzuki, M.</u> , Ishimaru, T., Wakamatsu, T. Suffusion characteristics of soils affected by seepage before and after shearing in triaxial test apparatus. Proc. of the 20th International Conference on Soil Mechanics and Geotechnical Engineering 2021.	
<u>Suzuki, M.</u> , Kagohara, K., Sakaguchi, K., Matsugi, H., Kataoka, S. Urgent issues and new suggestions for geo-disaster prevention in Japan. Proc. of the 5th World Landslide Forum. 2020.11, 123-129.	
Ishimaru, T., <u>Suzuki, M.</u> , Wakamatsu, T. Mutual relationship between suffusion and shear behavior in triaxial compression apparatus. Proc. of the 10th International Conference Geotechnique, Construction Materials and Environment. 2020, 153-158.	
Wakamatsu, T., <u>Suzuki, M.</u> , Ishimaru, T. Outflow characteristics of fine particles in two kinds of water-passing experiments using a column. Proc. of the 10th International Conference Geotechnique, Construction Materials and Environment. 2020, 321-326.	
朝位 孝二	
Hajime Shirozu, <u>Koji Asai</u> . Extraction of Slope Failure Behind Agricultural Reservoirs due to Heavy Rainfall using Remote Sensing. Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress 2020.	有
<u>Koji Asai</u> , Tomihiro Ishii, Takuzo Amano, Hajime Shirozu. Detection of Risky Mountain Stream and Slop Failure Area in Noro-Gawa River Basin using GIS and Optical Satellite Image. Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress 2020.	有

Andhita Triwahyuni, <u>Koji Asai</u> , I. Gede Hendrawan, Hajime Shirozu. Numerical simulation of drifted marine debris in Suo-Nada caused by the north Kyushu heavy rainfall on July 2012. Proceedings of the International Offshore and Polar Engineering Conference. 2020-October, 542-547.	有
足立 亮介	
<u>Ryosuke Adachi</u> , Yuji Wakasa. Continuous-Time Algorithm for Consensus Optimization over P2P Networks. Proc. of the SICE Annual Conference 2020. 23-26.	有
<u>Ryosuke Adachi</u> , Yuh Yamashita, Koichi Kobayashi. Design of Controller and Observer for Dynamical Network Systems Based on Weighted Degrees. Proc. of the 21st IFAC World Congress. 2020, 3392-3397.	有
<u>Ryosuke Adachi</u> , Yuji Wakasa, Koichi Kobayashi. On Minimum Time Control for Dynamical Transportation Using ADMM. Proc. of the 21st IFAC World Congress. 2020.	有
Kei Isono, Koichi Kobayashi, <u>Ryosuke Adachi</u> , Yuh Yamashita. On Sensor Attack Detection in Control Systems Using Moving Horizon Estimation and Control Performance. Proc. of the 21st IFAC World Congress. 2020.	有
楮原 京子	
Suzuki, M., <u>Kagohara, K.</u> , Sakaguchi, K., Matsugi, H., Kataoka, S. Urgent issues and new suggestions for geo-disaster prevention in Japan. Proc. of the 5th World Landslide Forum. 2020.11, 123-129.	
白水 元	
<u>Hajime Shirozu</u> , Koji Asai. Extraction of Slope Failure Behind Agricultural Reservoirs due to Heavy Rainfall using Remote Sensing. Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress 2020.	有
Koji Asai, Tomihiro Ishii, Takuzo Amano, <u>Hajime Shirozu</u> . Detection of Risky Mountain Stream and Slope Failure Area in Noro-Gawa River Basin using GIS and Optical Satellite Image. Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress 2020.	有
Andhita Triwahyuni, Koji Asai, I. Gede Hendrawan, <u>Hajime Shirozu</u> . Numerical simulation of drifted marine debris in Suo-Nada caused by the north Kyushu heavy rainfall on July 2012. Proceedings of the International Offshore and Polar Engineering Conference. 2020-October, 542-547.	有
中正 和久	
Seitaro Mishima, <u>Kazuhisa Nakasho</u> , Kousuke Takeuchi, Naohiro Hayaishi, Yuuki Takano, Atsuko Miyaji. Development and Application of Privacy-preserving Distributed Medical Data Integration System. IEEE International Conference on Consumer Electronics - Taiwan. 2020.	有
山本 浩一	
A. H. M. Enamul Kabir, Masahiko Sekine, Tsuyoshi Imai, <u>Koichi Yamamoto</u> . Transportation pathways of land source based microplastics into the marine environments: The context of rivers. Proceedings of the 22nd IAHR-APD Congress 2020.	有

吉本 憲正	
Wu, Q., <u>Yoshimoto, N.</u> , Nakano, N., Kajiyama, S., Xu, J., Nakata, Y. Time-dependent behaviors study on natural gas hydrate-bearing sediments under plane strain shear test. Proceedings of the 30th International Offshore and Polar Engineering Conference. 2020, 63-67.	有

C. 国内学会・シンポジウム等における発表

著者名、発表論文名、学会名、開催場所、論文等の番号、発表年月日等	査読
鈴木 素之	
田口岳志, 鳥屋部佳苗, 楮原京子, <u>鈴木素之</u> , 荻野俊寛. 雄物川流域・強首地区における洪水履歴と住民の防災意識. 第 10 回土砂災害に関するシンポジウム論文集. 2020, 199-203.	有
二瓶 泰雄, 仲江川 敏之, 中北 英一, 竹見 哲也, 山田 朋人, 三隅 良平, 飯塚 聡, <u>鈴木 真一</u> , 柳瀬 亘, 立川 康人, et al. 令和元年台風 19 号及び台風 21 号による広域災害に関する総合研究. 自然災害科学総合シンポジウム講演論文集. 2020, 57, 9-22.	有
榑原 弘之	
<u>榑原弘之</u> , 青木俊明, 塚井誠人, 藤見俊夫, 神谷大介, 松田曜子, 長曾我部まどか. ポストコロナの地域づくりとコミュニケーション・合意形成. 土木計画学研究発表会. 2020 年 11 月 15 日.	
赤星拓哉, 神谷大介, 吉濱佑太, 城間聖, 長曾我部まどか, <u>榑原弘之</u> , 金城太一, 我部新, 山中亮, 塚井誠人. 過疎・高齢地域における自主防災組織結成を目的とした防災ワークショップの発話分析. 土木計画学研究発表会. 2020 年 6 月 13 日.	
<u>榑原弘之</u> , 神谷大介, 赤松良久, 守田孝恵, 磯村總子, 斎藤美矢子, 木嶋彩乃. 小規模高齢者福祉施設における水害時垂直避難計画の策定支援に関する研究. 土木計画学研究発表会. 2020 年 6 月 13 日.	
沖村凌志, <u>榑原弘之</u> . 実証実験データに基づく地方中小都市のシェアサイクル導入意義の検討. 土木学会中国支部研究発表会. 2020 年 6 月 6 日.	
横田健翔, <u>榑原弘之</u> . 鉄道・バス統合データを用いた地方都市における公共交通利用の時間的乖離の分析. 土木学会中国支部研究発表会. 2020 年 6 月 6 日.	
守田 孝恵	
後藤奈穂, <u>守田孝恵</u> , 磯村聰子, 斎藤美矢子, 金森弓枝. 保健所保健師による医療的ケア児を対象とした「個別支援」と「地域ケアシステム構築」. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	
金森弓枝, <u>守田孝恵</u> , 磯村聰子, 斎藤美矢子, 後藤奈穂. 地域組織活動への参加を基盤に健康を維持する独居高齢者の相互交流. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	
伊藤悦子, <u>守田孝恵</u> , 磯村聰子, 斎藤美矢子, 金森弓枝, 後藤菜穂. 警察官通報体制と保健所保健師の再発予防支援の関連. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	

金森弓枝, 守田孝恵, 磯村聡子, 斎藤美矢子, 後藤菜穂. 地域組織参加を基盤に健康保持を成す女性独居高齢者の相互交流. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
後藤菜穂, 守田孝恵, 磯村聡子, 斎藤美矢子, 金森弓枝. 医療的ケア児に関する個別支援からの地域ケアシステム構築における保健所保健師の役割. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
榊原弘之, 神谷大介, 赤松良久, 守田孝恵, 磯村聡子, 斎藤美矢子, 木嶋彩乃. 小規模高齢者福祉施設における水害時垂直避難計画の策定支援に関する研究. 土木計画学研究発表会. 2020 年 6 月 13 日.	
赤松 良久	
赤松良久, 宮園誠二, 大中臨, 谷口徳紀. 中国地方一級河川における気候変動が河川水温に及ぼす影響についての検討. 応用生態工学会 2020Web 研究発表会. 2020 年 12 月.	
大中臨, 赤松良久. 令和元年台風第 19 号時における那珂川流域の河川氾濫シミュレーション. 土木学会 2020 年度全国大会第 75 回年次学術講演会. 2020 年 9 月.	
大中 臨, 赤松良久, 安木進也, 小野香苗. 宍道湖浅水域における UAV・SfM-MVS を用いた水面下地形測定の有効性に関する検討. 第 72 回 2020 年度土木学会中国支部研究発表会. 2020 年 6 月.	
足立 亮介	
足立亮介, 田中大介, 若佐裕治. 人口移動を含む SIR モデルのネットワーク構造に基づいた安定解析. 第 8 回制御部門マルチシンポジウム. 2021 年 3 月.	
宮城詢, 若佐裕治, 足立亮介. 非同期交互方向乗数法の高速化と直流最適潮流問題への応用. 第 8 回制御部門マルチシンポジウム. 2021 年 3 月.	
川本祐輔, 足立亮介, 若佐裕治. 二次ダイナミクスを有するマルチエージェントシステムのネットワーク構造に基づく安定化. 第 63 回自動制御連合講演会. 2020 年 11 月 21 日.	
網木 政江	
三浦由紀子, 宮本純子, 鈴木幹子, 山田英子, 松村あづさ, 網木政江, 甲斐真紀子, 夏川知輝, 久野将宗, 前川和彦. 2019 年千曲川流域浸水被害における HuMA の災害ボランティアセンターでの一般ボランティア支援. 第 26 回日本災害医学会総会・学術集会. 2021 年 3 月.	
網木政江. ストレス反応からみた段ボールベッドの有用性の検討ー床上臥床と段ボールベッド臥床との比較ー. 日本災害看護学会第 22 回年次大会. 2020 年 9 月 28 日.	
磯村 聡子	
後藤奈穂, 守田孝恵, 磯村聡子, 斎藤美矢子, 金森弓枝. 保健所保健師による医療的ケア児を対象とした「個別支援」と「地域ケアシステム構築」. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	

金森弓枝, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , 斎藤美矢子, 後藤奈穂. 地域組織活動への参加を基盤に健康を維持する独居高齢者の相互交流. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	
伊藤悦子, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , 斉藤美矢子, 金森弓枝, 後藤菜穂. 警察官通報体制と保健所保健師の再発予防支援の関連. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
金森弓枝, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , 斉藤美矢子, 後藤菜穂. 地域組織参加を基盤に健康保持を成す女性独居高齢者の相互交流. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
後藤菜穂, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , 斉藤美矢子, 金森弓枝. 医療的ケア児に関する個別支援からの地域ケアシステム構築における保健所保健師の役割. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
太田 岳洋	
<u>太田岳洋</u> . 山口県は応用地質もおもしろいかも. 2020 年度山口地学会総会. 2020 年 12 月 12 日.	
<u>太田岳洋</u> . 最近の火山岩斜面での斜面崩壊事例から考える耐力ー外食関係の重要性. 日本応用地質学会九州支部・九州応用地質学会令和 2 年度 (第 36 回) 研究発表会. 2020 年 11 月 6 日.	
<u>太田岳洋</u> . 地下水水質から火山体内部の地質が推定できるか?. 国際火山噴火史情報研究集会. 2020-1, 2020 年 9 月 26 日	
<u>太田岳洋</u> . 5th International Workshop on Rock Mechanics and Engineering Geology 【RMEGV2021】について: 趣旨と概要. 国際火山噴火史情報研究集会. 2020-1, 2020 年 9 月 26 日.	
楮原 京子	
田口岳志, 鳥屋部佳苗, <u>楮原京子</u> , 鈴木素之, 荻野俊寛. 雄物川流域・強首地区における洪水履歴と住民の防災意識. 第 10 回土砂災害に関するシンポジウム論文集. 2020, 199-203.	有
岩沢冴子, 中村耕佑, 安江健一, 立石良, 寺門隆治, <u>楮原京子</u> , 丹羽正和, 黒澤英樹. 太江断層西端付近における断層分布と変位速度. 日本活断層学会 2020 年度秋季学術大会. 2020 年 11 月.	
斎藤 美矢子	
後藤奈穂, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , <u>斎藤美矢子</u> , 金森弓枝. 保健所保健師による医療的ケア児を対象とした「個別支援」と「地域ケアシステム構築」. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	
金森弓枝, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , <u>斎藤美矢子</u> , 後藤奈穂. 地域組織活動への参加を基盤に健康を維持する独居高齢者の相互交流. 日本公衆衛生看護学会第 9 回学術集会. 2021 年 1 月.	
伊藤悦子, 守田孝恵, <u>磯村聰子</u> , <u>斎藤美矢子</u> , 金森弓枝, 後藤菜穂. 警察官通報体制と保健所保健師の再発予防支援の関連. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	

金森弓枝, 守田孝恵, 磯村聡子, <u>斉藤美矢子</u> , 後藤菜穂. 地域組織参加を基盤に健康保持を成す女性独居高齢者の相互交流. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
後藤菜穂, 守田孝恵, 磯村聡子, <u>斉藤美矢子</u> , 金森弓枝. 医療的ケア児に関する個別支援からの地域ケアシステム構築における保健所保健師の役割. 第 79 回日本公衆衛生学会総会. 2020 年 10 月.	
白水 元	
朝位孝二, <u>白水元</u> . SAR 画像を用いた千曲川氾濫域抽出と浸水深推定. 自然災害科学総合シンポジウム講演論文集. 2020, 57.	
鈴木 祐麻	
<u>鈴木祐麻</u> , 中瀬貴将, 加古山怜, 新苗正和. 重金属の粘土鉱物への収着および溶出挙動. 第 23 回日本水環境学会シンポジウム. 2020 年 9 月 10 日.	
<u>鈴木祐麻</u> , 岡村正樹, 新苗正和. ポリアミド系複合逆浸透膜に存在するナノスケールレベルの欠陥を修復する簡易技術の開発. 日本海水学会第 71 年会. 2020 年 6 月 4 日.	
中正 和久	
重中晟吾, <u>中正和久</u> , 和崎克己. Mizar 数学ライブラリの依存関係の可視化. 第 23 回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ(PPL2021). 2021 年 3 月 11 日. 日本ソフトウェア科学会プログラミング論研究会.	
山道大地, <u>中正和久</u> , 和崎克己. Mizar 数学ライブラリをホスティングする Web プラットフォーム (ポスター・デモ). 第 23 回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ(PPL2021). 2021 年 3 月 10 日. 日本ソフトウェア科学会プログラミング論研究会.	
谷口広途, <u>中正和久</u> . Mizar 上での開発を補助するエディタ拡張と入力補完機能 (ポスター・デモ). 第 23 回プログラミングおよびプログラミング言語ワークショップ (PPL2021). 2021 年 3 月 9 日. 日本ソフトウェア科学会プログラミング論研究会.	
重中晟吾, <u>中正和久</u> , 和崎克己. Mizar Mathematical Library の依存関係の可視化に関する研究. Mizar 研究会による発表会 (TSGA2020). 2020 年 12 月 27 日. 信州大学工学部.	
山道大地, <u>中正和久</u> , 和崎克己. Mizar 数学ライブラリをホスティングする Web プラットフォームの研究. Mizar 研究会による発表会 (TSGA2020). 2020 年 12 月 27 日. 信州大学工学部.	
谷口広途, <u>中正和久</u> . Visual Studio Code 上で Mizar の記述を補助するエディタ拡張機能の現状についての紹介. Mizar 研究会による発表会 (TSGA2020). 2020 年 12 月 27 日. 信州大学工学部.	
樋口 隆哉	
<u>樋口隆哉</u> , 今井剛, 関根雅彦. 主要な悪臭発生源を対象とした臭気強度評価に用いる基準臭物質の選定. 第 61 回大気環境学会年会講演要旨集. 2020 年 9 月.	

樋口隆哉, 今井剛, 関根雅彦. 様々な臭気強度評価尺度の実験的比較. 第 61 回大気環境学会年会講演要旨集. 2020 年 9 月.		
森 啓年		
中川翔太, 宅見和弘, 渡邊魁, 森啓年, 下川大介. 空洞及び陥没の進行過程と地下水位に関する再現解析. 第 55 回地盤工学研究発表会. 2020 年 7 月.		
宅見和弘, 渡邊魁, 中川翔太, 森啓年, 下川大介. 空洞及び陥没の進行過程と地表変位に関する模型実験. 第 55 回地盤工学研究発表会. 2020 年 7 月.		
平本貴一, 栗栖直之, 森啓年, 岡村昭彦. 格子状補強枠を用いたシート工法による盛土構造物の沈下抑制効果に関する模型実験. 第 55 回地盤工学研究発表会. 2020 年 7 月.		
山本 浩一		
山本浩一, 浜本悠樹, 小野文也, 植田敏史. 高層湿原における地下水流速の鉛直プロフィール計測. 第 54 回日本水環境学会年会講演集. 2020.		
山本浩一, 香川拓輝, 赤松良久, 白水元, 村上啓介, BASIR Noerdin, SUTIKNO Sigit. 熱帯泥炭地沿岸における泥炭堆積物の輸送に関する研究. 第 23 回日本水環境学会シンポジウム講演. 2020.		
吉本 憲正		
吉本憲正, 石橋弘康, 中田幸男. 様々な応力経路における砂の圧縮変形とエネルギーによる評価. 第 14 回地盤改良シンポジウム論文集. 2020, 163-168.		有
呉起, 吉本憲正, 梶山慎太郎, 中田幸男. 平面ひずみ条件下のメタンハイドレート胚胎砂の強度および変形特性に及ぼすせん断速度の影響. 第 55 回地盤工学研究発表会講演集. No.21-1-4-02, 2020.7.		
遠藤宏朗, 吉本憲正, 中田幸男. 平成 30 年 7 月豪雨における広島県坂町周辺地域の分別土の土質力学特性. 第 55 回地盤工学研究発表会講演集. No.22-1-1-01, 2020.7.		
田鵬宇, 吉本憲正, 兵動正幸, 中下明文. 締固めたまさ土とクリンカアッシュ混合土の静的せん断特性. 第 55 回地盤工学研究発表会講演集, No.22-1-2-03, 2020.7.		
弘中稔基, 原弘行, 吉本憲正. Mg 水溶液に曝露した固化材量が異なるセメント処理土の強度変化. 第 55 回地盤工学研究発表会講演集, No.2215-21-03, 2020.7.		

D. 学会運営

D1. 学会委員会

鈴木素之	
2020 年 10 月-2022 年 9 月	公益社団法人土木学会 調査研究部門地盤工学委員会 斜面工学研究小委員会委員
2018 年 8 月-2022 年 6 月	公益社団法人地盤工学会 災害連絡会議 専門委員 (降雨時の斜面崩壊)
2020 年 4 月 - 2022 年 3 月	山口大学地域未来創成センター 山口大学地域未来創成センター主事

2020年8月 - 2021年6月	公益社団法人 地盤工学会 表彰委員会委員
2020年7月 - 2021年6月	公益社団法人 地盤工学会 理事 公益出版担当
2018年7月 - 2021年6月	公益社団法人 地盤工学会 Soils and Foundations 編集委員
2019年5月 - 2021年4月	公益社団法人 地盤工学会 中国支部 地盤と建設 編集委員会 委員長
2019年10月 - 2021年3月	地盤工学会中国支部 中国地方における鉄道およびその関連施設の豪雨被害と地盤工学的課題に関する研究委員会 委員長
2018年8月 - 2020年6月	公益社団法人地盤工学会 災害連絡会議 地方連絡委員 (山口県)
2020年4月	NPO 法人応用斜面工学研究会 理事
榑原 弘之	
2020年6月 - 2021年6月	土木学会 土木学会論文集編集委員会 D3 分冊編集小委員会幹事 長
2019年6月 - 2021年6月	土木学会 土木学会論文集編集委員会・D3 分冊編集小委員会委員
守田 孝恵	
2020年4月 - 現在	日本公衆衛生看護学会 理事
2020年4月 - 現在	日本地域看護学会 代議員
赤松 良久	
2019年6月 - 2020年7月	土木学会 総務部門／論文賞選考委員会幹事
2017年7月 - 現在	土木学会 調査研究部門／土木学会論文集編集委員会／B1・ B2・B3 分冊合同編集小委員会 幹事長
2016年6月 - 現在	土木学会 水工学委員会／水害対策小委員会 幹事
2016年6月 - 現在	水工学委員会 グローカル気候変動適応研究推進小委員会 幹 事
2015年9月 - 現在	土木学会 調査研究部門／水工学委員会／環境水理部会 委員
2015年9月 - 現在	土木学会 調査研究部門／水工学委員会／委員兼幹事
鷗 心治	
2018年4月 - 現在	日本建築学会特別研究委員会 委員
2003年4月 - 現在	日本建築学会住まい・まちづくり支援建築会議運営委員会 委 員
磯村 聰子	
2018年9月 - 現在	日本病院・地域精神医学会 評議員
楳原 京子	
2020年6月 - 現在	日本活断層学会 行事委員会 委員
2020年6月 - 現在	日本活断層学会 秋季学術大会実行委員会 委員
2016年6月 - 現在	日本活断層学会 災害委員会 委員

2012年6月 - 現在	山口地理学会 常任委員
鈴木 祐麻	
2020年6月 - 現在	環境システム計測制御学会 編集委員
2019年7月 - 現在	日本海水学会若手会 会長
2019年6月 - 現在	環境システム計測制御学会 評議員
2019年6月 - 現在	日本海水学会 編集委員
2019年6月 - 現在	環境システム計測制御学会 事務局長
2015年4月 - 現在	環境資源工学会 評議員
中正 和久	
2018年4月 - 現在	日本 Mizar 学会 Mechanized Mathematics and Its Applications, Works in Progress (MMA-WiP) 編集委員
森 啓年	
2019年10月 - 2021年3月	地盤工学会中国支部 中国地方における鉄道およびその関連施設の豪雨被害と地盤工学的課題に関する研究委員会 委員
2019年4月 - 現在	地盤工学会 地盤工学ジャーナル編集委員
2018年4月 - 現在	International Commission on Large Dams, Technical Committee LE: Levees, Member
2017年4月 - 現在	地盤工学会国際部 部員
2017年4月 - 現在	公益社団法人 地盤工学会 中国支部 地盤と建設 編集委員会 委員
2017年4月 - 現在	International Society for Soil Mechanics and Geotechnical Engineering TC201: Geotechnical Aspects of Dykes and Levees and Shore Protection, Corresponding Member
2016年10月 - 現在	土木学会地盤工学委員会堤防研究小委員会 委員
2016年10月 - 現在	土木学会水工学委員会グローバル気候変動適応研究推進小委員会 委員
山本 浩一	
2019年4月 - 現在	日本水環境学会 湿地・沿岸域研究委員会 幹事長
2019年4月 - 現在	土木学会 中国支部幹事
吉本 憲正	
2020年6月 - 現在	日本材料学会 第69期編集委員会査読委員
2020年6月 - 2021年5月	日本材料学会 中国支部 学会賞選考委員会 委員
2019年10月 - 2021年3月	地盤工学会 中国支部 中国地方における鉄道およびその関連施設の豪雨被害と地盤工学的課題に関する研究委員会 委員
2019年6月 - 2020年5月	日本材料学会 第68期編集委員会査読委員
2017年8月 - 2020年12月	地盤工学会 室内試験規格・基準委員会 WG7: 特殊土の試験
2015年5月 - 2021年4月	地盤工学会 中国支部 幹事

2014年8月 - 現在	日本材料学会 地盤改良委員会 委員
--------------	-------------------

D2. 外部委員会等

鈴木素之	
2020年7月 - 2021年3月	一般財団法人 建設工学研究所 斜面防災および土工等設備の強靱化に関する検討委員会 委員
2020年4月 - 現在	NPO 法人応用斜面工学研究会 理事
赤松 良久	
2018年10月 - 現在	億首川マングローブ保全・活用推進協議会 委員
2015年6月 - 現在	天然アユがのぼる江の川づくり検討会環境部会
2015年2月 - 現在	中国地方整備局浜田河川国道事務所高津川河床掘削懇談会 委員
網木 政江	
2020年7月 - 現在	山口県災害看護研究会 副会長
2018年5月 - 現在	日本防災士会山口県支部 役員
鷗 心治	
2019年4月 - 現在	日本学術振興会 学術システム研究センター 専門研究員
2018年4月 - 現在	山口市新本庁舎整備専門会議 会長
2017年4月 - 現在	光市都市再生推進協議会 会長
2016年4月 - 現在	岡山県高梁市立地適正化計画策定協議会 会長
2015年4月 - 現在	周南市都市再生推進協議会 会長
2015年4月 - 現在	山口市都市計画審議会 会長
2014年4月 - 現在	山口県建築審査会 会長
2014年4月 - 現在	山口県都市計画審議会 会長
2013年4月 - 現在	山口市景観審議会 会長
2012年4月 - 現在	山口県国土利用計画審議会 会長
2009年4月 - 現在	国土交通省中国地方整備局景観施策アドバイザー
2005年4月 - 現在	山口県景観アドバイザー
太田 岳洋	
2019年 - 現在	国土交通省 建設工事における自然由来重金属等含有岩石・土壌への対応マニュアル改訂委員会委員
2018年 - 現在	下関市 下関市産業廃棄物処理施設設置計画専門委員会指定委員
2018年 - 現在	下関市 下関市廃棄物処理施設環境評価専門委員会委員
2017年 - 現在	山口県 山口県廃棄物処理施設環境評価専門委員会及び山口県産業廃棄物処理施設設置計画専門審査会

楮原 京子	
2019年9月 - 現在	山口県希少野生動植物保護対策委員会 委員
2019年9月 - 現在	山口県自然環境保全審議会 委員
2019年4月 - 現在	山口県防災会議 専門委員
2016年11月 - 現在	山口県秋吉台学術専門家委員会 委員
2015年10月 - 現在	公益財団法人地震予知総合研究振興会 海域活断層モデル検討委員会 委員
2012年7月 - 現在	国土地理院 全国活断層帯情報整備検討委員会 委員
斎藤 美矢子	
2020年11月-現在	宇部市地域福祉計画等策定懇話会 委員
2020年4月-現在	宇部市市営住宅審議会 委員
森 啓年	
2021年3月 - 現在	土木研究センター 盛土強化工法研究会 技術委員長
2019年4月 - 現在	中国電力 水力設備安全性評価委員会 委員
2019年4月 - 2021年3月	国土技術研究センター 建設発生土を活用した盛土材料としての改良技術, 無害化技術ワーキンググループ グループ長
2017年4月 - 現在	山口県土木建築部 技術アドバイザー
2017年4月 - 現在	山口県教育委員会 防災出前授業 講師
2016年10月 - 現在	国土交通省中国地方整備局 河川部 堤防技術研究会 有識者委員
山本 浩一	
2020年11月-現在	宇部市環境審議会 委員
2016年11月-現在	山口県土地利用審査会 委員
2010年4月- 現在	榎野川河口域自然再生協議会 委員

D3. 講演

守田 孝恵

「保健師が捉える精神障害者の生活とその支援」／愛媛県心と体の健康センター主催 保健師現任研修会／2020年8月

「地域保健活動の展開－日常業務でPDCAサイクルを回す」／山口県主催 地域保健課題評価研修会／2020年8月

「地域保健活動の展開－日常業務でPDCAサイクルを回す」／岡山県主催 岡山県中堅期保健師研修／2020年8月

その他、研修会での講演多数

赤松 良久

「AR技術を用いた河川流域環境に関する教育ツールの開発」／リモート講演（一社）建設コンサルタツ協会九州支部／2020年12月8日

楮原 京子

「GIS で考える地域防災」／一般社団法人やまぐち GIS ひろば第 6 回 GIS フォーラム（山口県セミナーパーク）／2021 年 2 月 13 日

山本 浩一

“Technical challenges of mitigation and coastal Peatland degradation.”／SEMINAR NASIONAL INDUSTRI DAN TEKNOLOGI (SNIT)／2020 年 11 月 8 日（オンライン）

「インドネシア熱帯泥炭地，亜寒帯泥炭地の地下水環境と最近の環境問題」／幌延ライズ特別講演会／2020 年 10 月 29 日

E. 報道関係

E1. ラジオ放送

放送日	放送局	番組名	出演者
2021 年 3 月 17 日(水)	NHK 山口放送局	情報維新やまぐち「高齢者福祉施設における水害対策に関するアンケート調査」について	赤松 良久
2021 年 2 月 13 日(土)	FM きらら	ようこそ BOUSAI カフェ（地域防災・減災センターキックオフイベント紹介）	斎藤 美矢子
2020 年 8 月 24 日(月)	NHK 山口放送局	情報維新やまぐち「令和 2 年九州豪雨災害速報会」について	赤松 良久

E2. 新聞

掲載日	新聞名	タイトル	該当者
2021 年 3 月 9 日（火）	読売新聞山口版	防災への研究と教育を担う 東日本大震災 10 年 思いをつなぐ 4	鈴木 素之
2020 年 12 月 24 日(木)	中国新聞地方版	桜江で専門家 地中調査 堤防外に土砂噴出「パイピング」調査	森 啓年
2020 年 7 月 22 日(水)	毎日新聞	「点検かつての豪雨被災地から～早期避難自治体取り組み」	赤松 良久
2020 年 6 月 29 日(月)	電気新聞	「集配車で気象情報収集」ヤマト総研山口大など防災にデータ活用	赤松 良久

F. 国際交流：外国人の受け入れ状況

受け入れ教員名／訪問者氏名／所属機関・役職／訪問目的／期間

吉本憲正／Xu Jialin（徐佳琳）／College of Architecture and Civil Engineering of Beijing University of Technology, Ph.D Student／砂中の減圧法及び加熱法によるメタンハイドレート分解に関する研

究実施のため／2019年10月15日～2020年10月15日

G. 表彰・評価関係

鈴木 素之

令和2年度地盤工学会 中国支部技術賞／復建調査設計株式会社, 山口大学工学部 鈴木素之研究室, 山口大学教育学部 楮原京子研究室／ジオスライサーによる地盤災害履歴調査／2021年3月31日／<http://jgschugoku.jp/shibusyou.html>

山口大学第5回アクティブラーニング(AL) ベストティーチャー受賞／2021年1月／<http://ds0n.cc.yamaguchi-u.ac.jp/~otml/blog/2021/01/000169.html>

楮原 京子

令和2年度地盤工学会 中国支部技術賞／復建調査設計株式会社, 山口大学工学部 鈴木素之研究室, 山口大学教育学部 楮原京子研究室／ジオスライサーによる地盤災害履歴調査／2021年3月31日／<http://jgschugoku.jp/shibusyou.html>

2020年度日本地理学会 賞著作発信部門／対象著作：荒木一視ほか『救援物資輸送の地理学：被災地へのルートを確保せよ』, ナカニシヤ出版, 190p., 2017／2021年3月26日

令和元年度物理探査学会賞 論文業績賞 奨励賞／岡田真介, 楮原京子, 今井幹浩／対象論文：岡田真介ほか：横ずれ断層における各種物理探査の適用可能性の検討（その1：浅層反射法地震探査・屈折法地震探査・CSAMT探査・重力探査）－郷村断層帯および山田断層帯における事例－, 物理探査, 第71巻, p.103-125, 2018／2020年6月8日

H. 獲得研究費

鈴木 素之

科研費・基盤研究(A)／代表者／地盤履歴と災害伝承を融合した「時間防災学」視点でのミレニアム土砂・洪水氾濫の解明／2019-04-01－2024-03-31

科研費・基盤研究(B)／分担者(代表者：池田 隆明)／阿蘇カルデラで発生した地震被害メカニズム解明のための追跡調査と残存リスクの評価／2018-04-01－2021-03-31

科研費・特別研究促進費／分担者(代表者：二瓶 泰雄)／令和元年台風19号及び台風21号による広域災害に関する総合研究／2019-12-04－2021-03-31

その他、分担1件

榊原 弘之

国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所受託研究／要配慮者施設における水害タイムライン策定支援に関する研究／2020年4月－2021年3月

守田 孝恵

科研費・基盤研究(C)／代表者／精神担当保健師のための「同僚と10分で困難事例対応能力を向上させる業務モデル」／2018-04-01－2022-03-31

その他、分担3件

赤松 良久

受託研究・総務省戦略的情報通信研究開発推進事業(SCOPE)／代表者／高精度河川水位予測を実現するクラウド型車載雨量計ネットワークシステムの開発／2018-04-01－2021-03-19

受託研究・国土交通省河川砂防技術開発／分担者（代表者：陰山 建太郎）／衛星 SAR 等リモートセンシング技術を用いた堤防・河道の状態把握及び河道の流下能力評価に関する技術研究開発／2019－2022 年度

山口県官学共同研究・山口県建設技術センター／代表者／ディープラーニングによる河川水位予測システムの構築／2018-05-08－2022-03-31

科研費・特別研究促進費／分担者（代表者：二瓶 泰雄）／令和元年台風 19 号及び台風 21 号による広域災害に関する総合研究／2019-12-04－2021-03-31

研究助成・一般財団法人河川情報センター／代表者／要配慮者の警戒・避難判断支援のための中小河川水位の AI 予測システムの開発／2019-11-01－2021-10-31

受託事業・令和元年度 やまぐち産業イノベーション促進補助金事業／分担者（代表者：(株) エイム）／衛星データ解析による河川インフラ監視／2019－2020 年度

その他 受託研究 6 件，共同研究 3 件，受託事業 6 件，助成 1 件，科研代表 1 件，分担 3 件

朝位 孝二

科研費・基盤研究 (B) ／分担者（代表者：山本 晴彦）／120 年雨量データベース構築と地理空間情報の統合化による水害常襲地のリスク評価／2018-04-01－2021-03-31

国土交通省中国地方整備局港湾空港部受託研究／漂流ゴミの予測シミュレーションに関する研究／2019 年 7 月 - 2021 年 3 月

その他、分担 2 件

足立 亮介

科研費・若手研究／代表者／スケラブルな通信に基づくセンサネットワーク上の高精度状態推定／2020-04-01－2024-03-31

鷗 心治

科研費・基盤研究 (B) ／分担者（代表者：中出 文平）／コンパクトな密度構造の都市を担保するための土地利用制度のあり方に関する研究／2018-04-01－2021-03-31

その他、分担 1 件

磯村 聰子

科研費・若手研究／代表者／民生委員を対象にした精神障害者が生活し続けるための地域づくりプログラムの開発／2018-04-01－2021-03-31

その他、分担 2 件

楮原 京子

科研費・基盤研究 (B) ／分担者（代表者：荒木 一視）／南海トラフ地震発生時における効果的な救援物資輸送実現のための地理学的研究／2018-04-01－2022-03-31

その他、分担 1 件

齋藤 美矢子

科研費・基盤研究 (C) ／代表者／1 歳 6 か月児健診カンファレンスシートを活用した地域の健康課題発見モデルの開発／2020-04-01－2024-03-31

鈴木 賢士

科研費・基盤研究 (B) ／代表者／降水雲内の帯電電荷を測定する 400MHz 帯ラジオゾンデ搭載用の新型センサーの開発／2018-04-01－2021-03-31

鈴木 祐麻

科研費・基盤研究 (B) / 代表者 / 二酸化チタンの重要性に着目した重金属類の土壌中動態の解明と地下水への流出抑制 / 2018-04-01 - 2021-03-31

科研費・挑戦的研究 (萌芽) / 代表者 / 土壌環境において重金属がアナターゼの表面に濃縮する要因の実験および理論計算的解明 / 2020-07-30 - 2023-03-31

高橋 征仁

科研費・基盤研究 (C) / 代表者 / 被災者はなぜ罪悪感を抱くのか? - 避難の困難さと社会的承認に関する実証的研究 / 2018-04-01 - 2021-03-31

鶴田 良介

科研費・基盤研究 (C) / 代表者 / 重症患者の回復期のせん妄・睡眠障害・対光反射と短期 ADL との関連 / 2019-04-01 - 2022-03-31

その他、分担 1 件

中正 和久

科研費・若手研究 / 代表者 / 定理間の論理的な類似度に関する研究 / 2020-04-01 - 2023-03-31

その他、分担 1 件

森 啓年

科研費・基盤研究 (B) / 分担者 (代表者: 中田 幸男) / 想定外の豪雨地盤災害を対象としたメッシュ型無線センサー監視システムの開発 / 2016-04-01 - 2021-03-31

森下 徹

科研費・基盤研究 (C) / 代表者 / 西国の城下町域における労働社会の研究 / 2018-04-01 - 2021-03-31

その他、分担 3 件

山本 浩一

JSPS 二国間交流事業 インドネシア (DG-RSTHE) との共同研究 / 代表者 / 泥炭堆積物の輸送力学の確立 / 2020-04-01 - 2023-03-31

吉本 憲正

科研費・基盤研究 (C) / 代表者 / メタンハイドレート生産に加熱法は適さないのか? - 熱・流体移動特性の解明と評価 - / 2020-04-01 - 2024-03-31

科研費・基盤研究 (B) / 分担者 (代表者: 中田 幸男) / 想定外の豪雨地盤災害を対象としたメッシュ型無線センサー監視システムの開発 / 2016-04-01 - 2021-03-31

社団法人中国建設弘済会技術開発支援制度 / 代表者 / 平成 30 年 7 月豪雨により発生した災害廃棄物分別土砂のキャラクタリゼーションとその有効利用 / 2019 - 2020 年度

あしがき

2020年度は、「地域防災・減災センター～安全・安心を実現するSDGs グローカルコミュニティの創成～」が山口大学研究拠点群形成プロジェクトとして採択され、センターの発足に至りました。2021年2月15日には本センターのキックオフシンポジウムを開催し、国立保健医療科学院の奥田博子先生からご講演を頂いた他、地元宇部市にもご参加頂きパネルディスカッションを実施いたしました。新規プロジェクトとして、順調なスタートを切ることができたのではないかと考えております。

当センターは設立当初から、分野横断・学際的なアプローチを重視しております。進行中の研究プロジェクトの中にも、複数の部局のメンバーが協力して遂行しているものが多くあります。今後とも、総合大学としての強みを生かした取り組みを進めてまいり所存です。

次年度以降も、引き続き多くの活動を企画、実施してまいります。皆様のご理解、ご支援の程、宜しくお願い申し上げます。

副センター長 榊原 弘之